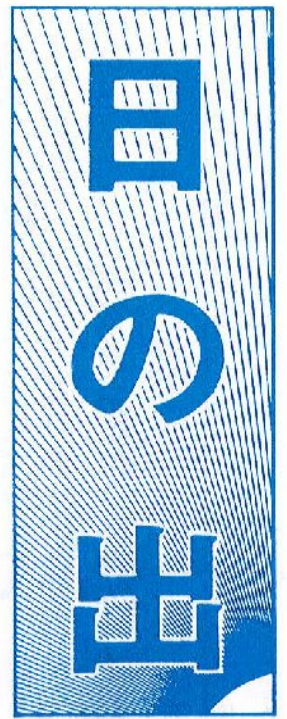




後援会員の皆さんにおかれましては、日頃からあたたかいご支援とご指導をありがとうございます。二〇一二年、今年も残すところあとわずかになってきました。季節は確実に秋から冬へ。今年のような猛暑の夏となった年は、寒い冬が来るといわれています。皆様、いかがお過ごしでしょうか！

さて、昨年の東日本大震災から一年半以上の歳月が経ちました。今年お、岩手、宮城、福島三県などの被災者約三十四万人が仮設住宅や借り上げ住宅で避難生活を強いられ、長期化する避難生活と追いついていないと、心身ともに苦境へ



第64号  
発行所  
印南宏後援会  
我孫子市日の出 1131  
日本電気労働組合  
我孫子支部内  
発行責任者 石井 秀一

### 野田第三次 改造内閣がスタート！

そうした中、国政では十月一日に、政権与党の民主党が中心となつて野田第三次改造内閣がスタートしました。大義名分は内閣機能強化とはいえず、新たな政策目標があるわけではなく、内向きの改造内閣となりました。これから臨む衆議院の解散と総選挙を意識した布陣とは到底思えない改造人事となつていきます。政治に対する信頼や期待が大きく損なわれる中、サラリーマンの定期人事異動を思わせるこの有様はとても残念であります。今後、赤字国債を発行するなどの特別公債法案の成立や解散の前提ともいえる衆議院小選挙区の一票の格差是正・定数の削減など思い切った「決める政治」を心から期待しています。

### 安心・安全な まちづくりをめざして！

今年五月、江戸川から基準値を超える有害物質ホルムアルデヒドが検出され、北千葉広域水道事業団からの送水が停止し、私たちの街「我孫子市」でも我孫子や天王台地区を中心に広範囲で断水が発

生しました。六月には、高濃度の放射性物質(国の管理となる指定廃棄物)を含むごみ焼却灰の一時保管場所を手賀沼終末処理場に決定した旨、千葉県知事による一方的な発表が突然なされました。元の白紙撤回を求める運動に千葉県は一切耳も貸さず、強行に建設着手という暴挙ともいえる行動に出ました。この指定廃棄物の一時保管問題により、我孫子市の将来に大きな暗雲が漂っています。

このように「安心・安全なまちづくり」をめぐる様々な問題が今、我孫子市に襲いかかっています。こうした時こそ、しっかりと市民に情報を伝達し、執行部と市議会が連絡を密にし、ながら対策を講じていくとともに、今こそ市議会が一つになり、我孫子の未来のために活動することが必要になっていきます。

現在、私たちは震災の復旧・復興や放射能対策を全力で取り組んでいます。一例として、子どもたちの将来のために必要な「我孫子市放射能対策総合計画」を策定し、着実に実行しています。また、我孫子市内全域を対象とした「我孫子市復興計画」の策定を通じて、震災からの再生・防災対策の強化に取り組んでいます。

特に、震災により被害が集中した布佐東部地区の再生のため「液化化対策検討委員会」を設置して、地盤解析調査を行い、大規模地震による被害規模の想定や布佐東部地区に適した液化化対策工法の検討をおこなう「液化化対策計画」を今年九月から着手し、年度内に策定していく予定です。



私は、これからも市議会の一員として諸問題の解決に努め、持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導とご支援をお願いいたします。



### 九月議会報告

- ① 九月議会に提出された議案は、十三件。主な議案は、火災予防条例の一部を改正する条例の制定
- ② 工事請負契約の締結(久寺家ポンプ一億六千二百万、若松ポンプ場改修工事一億四千万、若松配水管工事二億二千五百万) 布佐ポンプ場築造工事の契約変更(八億一千七百万↓十億一千六百万(一億九千九百万の増))
- ③ 市道路認定(四路線)
- ④ 平成二十四年度一般会計補正予算(十一億五千六百万追加し、総予算を三百六十四億四千万に)
- ⑤ 平成二十三年度一般会計決算の認定・他特別会計の認定(継続審査) などです。



つて、新たな勇氣と元気をいたたきました。これまで支えてくれた人々への感謝とこれから果たすべき患者さんへの責任、「感謝と責」を合言葉に、これからは精力的に研究を続けていくと宣言する山中先生。私も明日を信じて、先生のように、これからは元気に活動していきたいと思っています

### 日本語の難しさ 「近いうち」と「一時保管」

国政では、いつ衆議院の解散が行われるのか、各党の駆け引きが続いている。「近いうち」とは一体、いつ頃までと考えるのか解釈が問われていて、野田首相がそう発言したのは八月八日。もう二ヶ月以上を経ている。政治は駆け引き、「だまし、だまれ」の世界と他人は言うが、それにしても日本語は曖昧である。お盆前後の国会では「法案が成立した暁には近い将来、国民の信を問う」と自民党に回答した民主党。法案成立後、今度は「近いうち」の解釈をめぐってまた揉め始めた。自民党の麻生元首相からは、「近いうち」とは普通だつたら二週間前後を考えるのが常識であるとの発言。これに對するの民主党では、「近いうち」というのは来年八月の衆議院議員の任期満了も含まれてくるとの意見も飛び出した。日本語の解釈の幅の広いこと、これこそが日本語たる所以なのか。故に一方、東京電力福島第一原発事故により汚染された焼却灰などの指定廃棄物が埋め立てられる最終処分場と一時保管について千葉県は揉めている。国が責任を持つて、造ると言っている最終処分場だが、

千葉県はその前に「一時保管」する方針を示した。「一時保管」という「曖昧」な言葉になっていくが、最終処分場が確保されて始めて「一時保管」となることを忘れてはいけない。国は、最終処分場を県内に造ることとしているが、いまだに候補地さえ決めることが出来ない。くわえて、今後国が候補地を発表しても、栃木県や茨城県と同様に、候補地の早期確保は難しい。であるならば「一時保管」の一時とは、どの位の期間を指すのか。今示した筋から判断すると、恒久ではないにせよ、最終処分場が完成するまでの長期にもなりかねない曖昧な期間が一時保管となるのか。日本語は難しい。「近いうち」が一年を意味し、「一時」が十年にも二十年にもなるのが、日本語の難しさの所以たる一つである。

### 印南 宏 現在の主な役職

- 我孫子市議会 会派「あびこ未来」代表(無所属)
- 総務企画常任委員
- 農業委員会委員(議会選出)
- 我孫子市成田線を便利にする議員の会副会長
- 柏市・我孫子市議員協議会世話役
- 連合千葉関係 連合千葉議員団会議 幹事長
- 電機連合関係 電機連合議員団会議 ブロック幹事
- その他 我孫子市サッカー協会 顧問
- 我孫子市ソフトボール連盟顧問
- 新聞奨学生OB会相談役(前会長)など



### 焼却灰一時保管場所の行方 二回目の住民説明会

高濃度放射性物質(八千ベクレル/キ超)を含む焼却灰の一時保管問題で、千葉県は九月十八日夜、保管場所の建設を予定している手賀沼流域下水道手賀沼終末処理場の周辺地元を対象とした二回目の説明会を布佐南小の体育館で行ないました。説明会は、午後六時半から休憩なしの約四時間にわたって行われました。地元の一人として参加した私も含め百四十名を超えて参加したからは、自然災害があつた場合、絶対に安全とは言えない県の保管計画に不安が相次ぎ、白紙撤回を求める住民の声で説明会は終始しました。しかも、千葉県は、この説明会の当日(九月十八日)、建築確認の関係書類を条例で窓口と定めた印西市を通さずに、県印旛土木事務所(佐倉)に直接出していました。この地元説明会が何のために行なわれているのか、アリバイづくりのための説明会なのか、強引な千葉県のやり方に多くの市民は今、不信感を強めています。

### 暴挙とも言える 千葉県の行動

その後、県土木事務所は異例の速さで建築確認済証を交付し、千葉県は、九月二十一日(金)の我孫子市議会開催中に突然、工事に着手した旨の通知一枚を市に送り届けるなど、説明会や条例による手続きを無視した暴挙ともいえる行動に出ました。手賀沼終末処理場(印西・我孫子市境)に一時保管施設を建設するには地元自治体に

建設許可申請を提出、建築確認の手続きを行う必要があります。今回、建築確認の受理権を持つ印西市を通すことなく、千葉県が勝手に建築確認手続きを行ったことは、まさに「条例違反」となりま

す。千葉県の担当部長も条例違反を認めています。千葉県は都市計画法第六十五条の申請をしないことに加え、建築確認申請では審査権を持つ千葉県自身が「条例違反」を犯すなど、法令遵守すべき千葉県自身が、今、考えられない行動に出ています。

この千葉県が今日まで行ってきた一連の行動に、多くの市民が異議を訴え、「地元の反対に耳を貸さない千葉県」の建設計画を白紙撤回すべきとの声が湧き上がっています。

### 「あびこ未来会議」とは!

私たちが、我孫子市議会は全員でこの問題に立ち向かい、市民の皆さんに説明責任を持つ市議会として取り組んでいく覚悟です。市民の皆さんの力強いご支援とご協力をお願いいたします。



そして、議会の役割には、市民の皆さんが納めた税金の使い方を決めること(予算案や決算の議決・承認)、そして私たちの暮らし(ルール)を決めること(条例案の議決)が挙げられます。もちろんこの他にも法律上議会が議決する案件はたくさんありますが、中心的な役割はこの二点です。そして、議会はその審議過程を通して、行政へのチェック機能を果たしていきます。

今日まで、議会は果たしてその役割を十分に担ってきたと言えるのか? そのような疑問を自問自答した時、私たちはもう一度議会として原点に立ち返り、「市民とともに」歩む議会を創ろうと決意を新たにしました。その一つが「あびこ未来会議」です。市内の近隣センターや集会施設を回り、市民の皆さんとの意見交換を重ねていきます。地域ごとの課題や我孫子のまちづくりについて皆さんの生の声をお聞きして、議会での議決や政策づくりの反映させていきます。今日まで五回開催してきました。市民の皆さんの奮ってのご参加をお願いいたします。

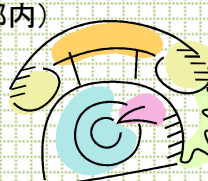


日本は、地震大国。いつでも、どこでも地震が発生する。地震列島だといわれている。先月、私が住む布佐平和台自治会はいつ発生するかわからない地震に発生して、総合防災訓練を行った。今回は、震度六強の地震が十三時三十分発生日の出雑感

害を受けたという想定で訓練が行われた。全世帯を対象に、班長による安否確認の実施し、その結果を地区支部へ報告し、各支部が集計した情報を対策本部へという一連の流れを実施することで防災体制の組織化の基本を理解してもらうことを目的とした。布佐平和台自治会は、団地の中央を東西に走るメイン道路(すらぎの道)に沿って、約二キロメートルにわたる千三百九十五戸、平屋の住宅団地に際して、全世帯の被害状況を速やかに把握して会員の生命財産を守るためには、防災体制を組織化する必要がある。自治会内に九箇所の支部を設置し、防災対策本部を自治会館に置く形で総合防災訓練は行われた。◆自治会内には半径二百メートルを基準に九箇所の公園に防災倉庫が設置してあり、各種災害活動を行う拠点として支部を立ち上げるようになっていく。各支部との情報伝達は携帯電話が使えないことを想定し、トランシーバーを使うのを訓練となった。訓練の内容は無線機の使い方、テントの張り方、発電機や災害救助工具の取扱方法、毛布担架の作り方などの各種訓練である。◆私も自治会の防災スタッフの一員として参加。安否確認、消化活動、救出救助活動等を速やかに実施するために、日頃から各種訓練を行うことを行って行く必要がある。訓練を体感することができた。今回の総合防災訓練は二百人を超える班長さんを始め、理事や防災委員の皆さん、多くの自治会役員の皆さんによって行われた。今回の総合防災訓練で大切な生命や財産が守れるよ

うに活かすことが、今、強く求められている。◆私が卒業した工業高校が来年、創立五十周年を迎える。私は同窓会の役員として五十年という節目の記念事業の実行委員になっていく。先日、母校で行われた実行委員会に出席。懐かしい母校での会議。私が学んだ年代は昭和四十四年から四十七年頃。あの頃と校舎は、ほとんど変わっていないが、通学路や周囲は大きく変貌していた。最寄り駅から学校まで、私が通学していた頃は田圃のあぜ道のように土が多く露出していた。現在、道路はすべて舗装され、周りには住宅が密集している。突然、高校時代の懐かしい思い出である文化祭当日のことが、私の脳裏に蘇ってきた。その頃、私は生徒会長を務め、文化祭の実行委員長をしていた。完全な男子校であった我が校に一年一度、他校の女生徒が大勢来校してくる。一大イベントの文化祭。前日まで降った大雨で学校までの通学路には大きな水たまりがあれど、ここには急遽、私たちが実行委員(生徒会役員)は、学校の渡り廊下を、いくつもリヤカーで持ち出し、ぬかるんで道に安全に渡るようにと早朝から一斉に道路整備に励んだ。みんな一生懸命、汗を流し、文化祭を成功させようという一念で行った作業だった。おかげで文化祭は成功裡に終了。懐かしい青春のページである。◆千葉県は今年四月、県内の人口減少の要因を分析する「千葉県人口動態分析検討会議」を設置。我が孫子市でも今日まで経験したことのない人口減少が始まった。人口減少は即、税収の減につながり、

**印南 宏後援会**  
 〒270-1198 我孫子市日の出 1131  
 (日本電気労働組合我孫子支部内)  
 Tel 7184-2860  
**印南 宏 自宅**  
 布佐平和台 7-1-18  
 Tel 7189-1598  
 e-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp  
 HP <http://www7b.biglobe.ne.jp/~innami-hiroshi/>  
 ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>



持続可能なまちづくりになる。九月議会の市政報告では、市も遅ればせながら年内に定住化促進のための「庁内検討委員会」を立ち上げると発表された。我孫子市では昨年度、転入が減り、転出超過となっていた。出の中身は、二十代、三十代が八割で、その他の世代が二割弱となっていた。検討委員会による詳細な分析結果が待たれるが、若者世代の定住化に向けた魅力あるまちづくりが急務となっている。子育て支援策の充実や、交通や買い物など日常生活の利便性向上もポイントとなる。対策は、何か一つやればと良いという単純なものではなく、地道で総合的なまちづくりが必要である。事業選択や新たな施策の検討、そして既存事業の実施が求められている。

宏